

仙北市は観光資源の宝庫

◆紙風船上げ

毎年2月10日開催。100年以上の歴史をもつ伝統行事「紙風船上げ」は、西木の冬祭りとして知られ、県内外からの見物客で賑わいます。武者絵に願いを託した2mから10mもの風船が夜空を染め上げます。



◆かたくりの群生地

八津駅から歩いて5分、特産品である西明寺栗の栗園のなかにかたくりの群生地があります。4月の中旬から薄紫の可憐な花を咲かせます。



◆さくら

国名勝「桧木内川堤のソメイヨシノ」は約2kmにわたる桜のトンネル。国天然記念物「角館のシダレザクラ」は、樹齢100年以上。どちらも4月下旬～5月上旬が見頃。

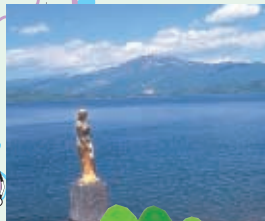
◆武家屋敷

国重要伝統的建造物群保存地区に選定されている角館の武家屋敷。春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色と四季を通じてその魅力を醸しだし、多くの観光客が訪れます。



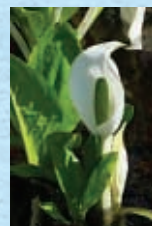
◆田沢湖

日本一の深さと、水の美しさを誇る田沢湖畔には、旅館や観光施設、みどころが立ち並び、レジャースポットです。サイクリング、キャンプ、ヨット、ボードセーリングなどアウトドアスポーツも楽しめます。



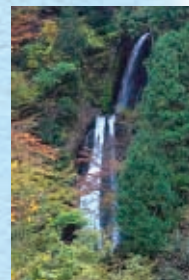
◆刺巻湿原ミズバショウ群生地

広いハンノキ林に囲まれた湿地帯一面にミズバショウの白い花が咲き誇ります。身頃は4月下旬頃。



◆抱返り溪谷

古くは、溪谷を通ろうとした人々が、溪谷を挟む断崖のあまりの危険さに、通行するときお互いに抱き合っただけ身を通したという逸話が名称の由来とも言われています。荒々しい断崖と、それと対照的な碧の川面のコラボレーションは訪れる人を魅了してやみません。落差30mの回顧の滝は、溪谷入口から徒歩30分。



◆八幡平

秋田県と岩手県にまたがるなだらかなアスピーテ火山で、一帯はブナやアオモリトドマツなどの原生林で包まれています。周辺には、いたるところで温泉が湧き、地獄めぐりや散策などが楽しめます。また、玉川ダム周辺では、新しい公園施設が整備され、憩いの広場として利用されています。



◆田沢湖高原・乳頭温泉

十和田八幡平国立公園南端に位置し、田沢湖が一望に望める広大な高原。スポーツゾーンやペンション、ホテル、温泉、秘湯など、お好みに合わせて楽しみかたはいっぱい。

